

## 報告

### 15年後の出来事



川田 一樹

15年後、まさかこんなことをするなんて、想像できただろうか…

それまでの私はスポーツとは無縁の生活でした。

そんな私がひょんなことから10kmのマラソン大会に出場し、完走。

調子に乗って第1回の奈良マラソンにエントリーしました。

でも、勢いで申し込んだはいいものの本当に走り切れるのだろうか？

そう心配していたある日、たまたま見た広報でランニング教室があることを知り、急いで申し込みました。

ランニング教室では生理学や栄養学などの講義があり、ただなんとなく走っていた私には新鮮な内容ばかりでした。

さらに、実技では走る距離を徐々に伸ばしていくことで、それまで10kmしか走ったことのない私が最後のLSDも完走できるまでになっていました。

迎えた奈良マラソンは、制限時間内にギリギリ完走！

ただ、完走したものの何かが足りないと感じていました。

何が足りないのかわからないまま、地元のリイクサイドマラソンに出場しました。

リイクサイドマラソンではランニング教室と一緒に学んだ仲間とおそろいのTシャツを着て走りました。

それまでのマラソンでは一人淡々と走っていましたが、今回は違います。

お揃いのTシャツを目印に走り、お互いに声を掛け合いながら走る。

「これだ！」と思いました。

足りなかったのはただ走るのではなく、仲間と楽しみながら走ることだと。

こうして2年連続でランニング教室を受講し、ホノルルを仲間と一緒に走ることにしました。

12/11、ついにホノルルマラソンのスタート地点に立ちました。

ちょうど15年前、結婚式を挙げたハワイで、今度はホノルルマラソンを走るなんて想像もしなかったことです。

スタート！

最初は先生と並んで一定のペースで走りました。

ワイキキビーチの手前で先生の足にトラブルが発生、ここからは一人で走ることに。カピオラニ公園を越えるとダイヤモンドヘッドの坂。

坂の苦手な私でしたが早朝練習で何度か登ったこともあり、途中歩くことなく登りきりました。

ダイヤモンドヘッドを超えてハイウェイに差し掛かると、そこからは延々向かい風。向かい風に苦しみながらハワイカイを過ぎ、再びハイウェイに戻ってくると今度は追い風に。

しかし、前半の向かい風で体力を消耗し、後半は明らかにペースダウン。

重い足取りで走っていると、道の反対側から「一樹！頑張れ！」の声援が！

そう、一緒にホノルルマラソンに参加したIさんからの声援でした。

この声援を受けて最後の力を振り絞り、フィニッシュ！

目標には届きませんでしたが、走りきった充実感いっぱいのホノルルマラソンでした。

楽しみながら走ることを教えてくださった諸先生方、スタッフの皆さん、学生の皆さん、そして一緒に学んだ皆さん、ありがとうございました。

次の目標はもう決めています。

2016年、20回目の結婚記念日に家族全員でホノルルマラソンにチャレンジしようと。